






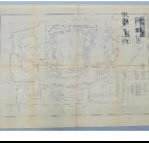


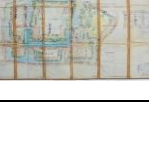







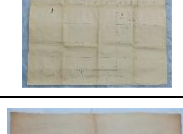
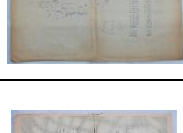
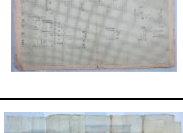




1-02-63 高岡古城公園関係地図リスト(計45件116点)

通No.	仮No.	写真	資料名称	年代	西暦	材質・技法	形態	点数	丁数	差出(作成者)	寸法 (縦×横/cm)	備考
1	1		公園地所四隣各村境界支分間数帳	明治8年9月	1875	紙・墨書	横半帳	1	14	測量人 第十七大区高岡町・井上仁十郎、第十六大区戸長・青木耕造	12.0×17.7	高岡城跡が明治8年に公園指定された後の同年10月3日、高岡町と周辺の村々がその境界線を実測して取り決めた際の図面〔「越中国射水郡高岡古城蹟公園境界絵図(高岡市立中央図書館蔵)」の添付資料。境界杭73本の位置が詳細に記される。絵図と本資料の作成者・井上仁十郎は「春圃」と号する高岡の絵師でもあった
2	3		公園図	明治34年	1901	紙・墨書、彩色	軸装	1	—	—	39.2×69.0	本丸に射水神社、二の丸に裁判所、鍛冶丸(字形)に射水郡役所、明丸に高岡市有地が描かれた絵図。このほか中の島造成のための高岡市の用地取得が明治39年であることも加筆されている。また現在の大手口と搦手口が逆に書かれている
3	4		高岡古城公園絵	明治44年調整	1911	紙・彩色	軸装	1	—	—	77.0×132.8	公園内の建物と樹木、本丸には射水神社が描かれる
4	5		高岡公園建造物参考図	明治44年頃	1911	紙・彩色	綴	46	—	設計：長岡安平	—	本図は高岡市が近代公園の先駆者、長岡安平に依頼した縮尺600分の1の高岡公園改良設計図(資料番号1-02-59-1)の付随資料(資料番号1-02-59-2)。第老区参考図綴(1件8点)、第式区参考図綴(1件10点)、第参区参考図綴(1件3点)、各区二通ズル参考図綴(1件20点)、予備参考図綴(1件10点)の計5件46点。 1. 第老区参考図綴：縦27.5cm×横38.7cm 2. 第式区参考図綴：縦27.3cm×横39.2cm 3. 第参区参考図綴：縦27.3cm×横38.7cm 4. 各区二通ズル参考図綴：縦27.4cm×横39.3cm 5. 予備参考図綴：縦27.3cm×横38.9cm 本資料は掛出橋、石橋、丸木橋等の多様な橋や数寄屋風便所、喫茶店等の施設が各々異なった趣向で描かれた資料で状態も良好。 ※井上清『祖庭長岡安平翁造庭遺稿』に同じ図が掲載されていることから、高岡の為の描き下ろしではなく長岡の「カタログ」があったことがわかる
5	6-1		高岡市公園之図(写)	明治後期	—	紙・墨書、彩色	軸装	1	—	—	40.2×55.0	明治6年「太政官布告第16号」を受け、第17大区々長(高岡市長相当職)・服部嘉十郎(1845～80)らが同5年の払い下げを取り消し、同7年7月に新川県権令(富山県知事相当職)・山田秀典に提出した高岡公園指定請願書(『公園之義ニ付願』)の付属略絵図の写。三の丸堀と枳形堀の北側の一部を埋め立て予定であったことが書かれる(埋め立て予定の堀に着色なし)。凡例あり(「公園地」・「堀込堀地」・「道」・「堀地」・「神社地」)
6	6-2		高岡市公園之図(写)	明治後期カ	—	紙・墨書、彩色	一紙	1	—	—	40.1×55.6	明治6年「太政官布告第16号」を受け、第17大区々長(高岡市長相当職)・服部嘉十郎(1845～80)らが同5年の払い下げを取り消し、同7年7月に新川県権令(富山県知事相当職)・山田秀典に提出した高岡公園指定請願書(『公園之義ニ付願』)の付属略絵図の写。三の丸堀と枳形堀の北側の一部を埋め立て予定であったことが書かれる(埋め立て予定の堀に着色あり)。凡例あり(「共有地」・「道」・「堀地」・「公園地」・「社地」・「消ス」)
7	39		高岡公園設計図	明治後期	—	紙・彩色	一紙	1	—	—	53.5×75.5	公園改修設計図の一つ。縮尺500分の1。長岡安平関係のものと思われる。三の丸堀を埋め立てて築山を造成し、小竹藪と三の丸に「全面桜」と指示がある。また本丸との間の堀沿いには山吹の植樹が記され、本丸には滝を備えた610坪に及ぶ池を造成する計画もあったことが本資料から伺えるが、この計画は実行されなかった
8	2		越中国射水郡高岡定塚町地引絵図(複写)	明治期	—	紙・印刷、一部着色	一紙	4	—	—	48.5×76.5	官有地、水堀、土塁などが色分けされた地引絵図(複写)。高岡公園が定塚町だったことが分かる。「地引絵図」とは明治初期の地租改正事業の一環として住民の手で作成されたもので、明治8年(1875)11月に完成し、清書は県に提出された。右部に「新川県第十七大区小一區/越中国射水郡高岡定塚町地引絵図/竿長一間/六尺三寸/明治八年十一月製」とあり
9	7		神社前四阿之図	—	—	紙・墨書、一部彩色	一紙	1	—	長岡安平カ	55.5×78.0	神社(射水神社カ)前に建てられた四阿屋の図面。縮尺10分の1。建物全体と屋根の内部、地面下部の様子が描かれている。長岡安平の作カ
10	8		彌猴飼養運動場・公園内腰掛台図面	—	—	紙・墨書、一部朱書き	一紙	1	—	長岡安平カ	55.5×78.0	公園内で大猿を飼育するための運動場(縮尺20分の1)と腰掛台(縮尺10分の1)の図面。長岡安平が提案した公園改良設計の一環で描かれたものと考えられるが、実在したかどうかは不明。 ※「彌」…猿、おおざる、巨大な猿の意
11	9		神社前四阿屋地指図	—	—	紙・墨書	一紙	1	—	長岡安平カ	24.0×27.0	射水神社前に建てられた四阿屋の図面

12	10		高岡公園地図 (城址地積図)			紙・墨書、彩色	軸装	1	—		80.0×130.8	高岡古城公園 (高岡城跡) の地積 (土地の面積) 図。左上に「凡例/曲尺老歩老間」、左下に「金森紙庄(印)」あり。本丸・二の丸・小竹藪に書き込みが多くあり、金森紙庄の拝借地図である。軸装前の絵図裏面に「高岡公園地図/曲尺老歩老間」と墨書があったとみられる。 【本丸】現与謝野寛・晶子歌碑付近に「百七拾坪紙庄拝借地」、外堀付近に「六百五拾坪 紙庄拝借地」、二の丸側付近に「拝借地 三百五拾坪紙庄持」とあり、本丸は金森紙庄の拝借地及び土地の坪数が記されている。 【二の丸】金森紙庄以外の人物名と土地の坪数が書かれた平面図あり。 【小竹藪】「八百拾式坪/拝借人 石塚善次郎/譲受人 加藤又平」とあり
13	21		武徳殿平面図	昭和前期		紙・鉛筆書き	方眼紙	1	—		26.6×37.7	明丸にあった武徳殿 (柔剣道場) の平面図。武徳殿は昭和12年(1937)明丸に設置された
14	11		高岡本丸野球場建設計画図	昭和22年	1947	紙・印刷、一部彩色	一紙	1	—		53.5×40.3	昭和22年(1947)、本丸に造成された球場建設平面図。縮尺500分の1。各所が色分けされており、球場内の規模や詳細な数値が赤色で記入されている。本丸野球場はその後同48年6月、城光寺に市営野球場が設けられ、使われなくなっていく
15	12		高岡公園本丸野球場平面図	昭和20~22年	1945~47	紙・印刷	一紙	1	—		36.0×43.0	本丸にあった本丸野球場の平面図。縮尺600分の1。平面図右上部には、建設年月日・収容見込人員・面積・球場の情報が記載。それによると、建設年月日は「昭和23年夏」(実際は昭和22年造成)、収容見込人員は「4,000人」、面積は「約4,500坪」、球場の規模は「中堅340ft/右堅290ft/左堅290ft」とある
16	15		高岡公園実測平面図	昭和22年~26年	1947~51	紙・印刷、彩色、朱書き	一紙	1	—		85.0×140.0	排水・水道関係の工事を目的として作られた平面図。縮尺600分の1。凡例あり(「道路」・「水路及水面」・「公園境界」・「建築物」・「制札/灯籠」・「鳥居/記念碑」・「坑工牆/坂塀」・「鉄柵/木柵」・「生籬/竹垣」・「独立樹/ベンチ」・「法/草地」・「田/荒地」)。また園内の建物は、本丸に野球場、二の丸にバレーボールコート、三の丸に相撲場、公園事務所、動物舎、バスケットボールコート、明丸に武徳殿、テニスコートがある
17	13		高岡公園現況図	昭和23~25年	1948~50	紙・印刷、着色	一紙	1	—		39.0×61.0	昭和26年(1951)の高岡産業博覧会に向けての改修が行われる前の公園の様子がよく分かる地図。縮尺1500分の1。本丸に野球場、二の丸にバレーボールコート4面、三の丸には相撲場とバスケットコート2面、明丸に武徳殿 (柔剣道場) とテニスコート4面などがみられるが、今はいずれも失われている
18	14		高岡市公会堂及高岡図書館敷地実測図	昭和26年	1951	紙・印刷	一紙	1	—		40.0×27.0	二の丸にあった公会堂と高岡図書館の敷地実測図。タイトルに「高岡市立公会堂及高岡図書館敷地実測図/(高岡区裁判所実測図)/縮尺六百分の一」とある。凡例があり、借地を斜線で示している。図中には「公会堂敷地/高岡図書館敷地/面積2,912坪86」とある
19	16		高岡市公会堂図書館設計図	昭和26年	1951	紙・印刷	一紙	2	—		53.0×80.0	二の丸にあった高岡市公会堂と図書館の設計図。縮尺200分の1。2枚とも同内容のもので、各施設の部屋の間取りや実測数値などが記載されている
20	17		高岡公園実測平面図	昭和26~30年代		紙・印刷	一紙	1	—		79.5×145.0	園内の樹木を植栽するために作られた図面。縮尺600分の1。平面図には実測数値が書き込まれており、二の丸内に桜や青、茶色などで色分けされた丸記号が記される。現駐春橋道には「松二本/桜二九本/櫻三本/樺一六本/よの木一本/杉二本」とある。園内の建物は、本丸に射水神社、二の丸に公会堂・図書館・護国神社など、三の丸に相撲場、明丸に武徳殿、鏡治丸に美術館がある
21	18		高岡古城公園平面図	昭和26~35年	1951~60	紙・印刷	一紙	1	—		69.0×88.5	三の丸にあった相撲場とその周辺の平面図。縮尺300分の1。相撲場の南西には動物園がある。相撲場は大正11年(1922)造成され、その後昭和35年11月に相撲場跡地に市民体育館 (現東洋通信スポーツセンター) が建設された。動物園は昭和26年(1951)の産業博覧会の折に設置され、昭和35年明丸へ移転し現在に至る
22	19		高岡市公会堂図書館平面図	昭和26年~38年	1951~63	紙・印刷	一紙	1	—		33.5×29.0	二の丸にあった公会堂と図書館の平面図。建坪が書かれている。縮尺600分の1。公会堂の建坪(362.1坪)と図書館の建坪(227.25坪)が記されている。市公会堂は昭和26年の高岡産業博覧会の迎賓館として建設。同38年の豪雪で損壊後、同41年に市民会館となるも、その後施設老朽化のため建物は解体された。図書館は明治40年坂下町に私立高岡図書館が設立。大正14年には公園二の丸に、平成16年には高岡駅前ウイング・ウイング高岡内へ移転した

23	20		高岡公園実測平面図	昭和20年代後半～30年代後半		紙・印刷、着色	一紙	8	—		80.0×145.0	公園内の実測平面図(8枚)。縮尺600分の1。建物の坪数が記載。地番別色分図や国・市・民有地別色分図、所有者別色分図などあり。園内の建物は本丸に野球場と射水神社、三の丸は相撲場と動物園、明丸は広場、鍛冶丸は美術館、二の丸は図書館と公会堂がある
24	22		高岡動物園平面図	昭和26～35年カ	1951～60	紙・印刷	一紙	1	—		42.0×60.0	三の丸にあった動物園平面図と思われる。上部に「高岡動物園/敷地面積821坪94/建物面積94坪815」とある
25	28		動物園移動計画図	昭和35年頃	1960	紙・印刷	一紙	1	—		28.2×38.8	昭和26年(1951)産業博覧会を機に三の丸(現東洋通信スポーツセンター向い)に設置された動物園を明丸に移動させるための計画図。縮尺200分の1。同35年現在地に移設された
26	25		高岡公園水銀灯新設工事図面	昭和35～38年	1960～63	紙・印刷、一部色鉛筆書き	一紙	2	—		40.0×55.0	園内の水銀灯新設工事のための図面。「高岡公園水銀灯新設工事」とある。凡例(「基礎工事を要す」・「ケーブル線工事」・「架空線工事」・「北電引込線」)のほか、「13 17は移設する」・「ケーブルは2mmビニール線とする」などの記載もある。この図によると、本丸を除く全ての郭や園内歩道、中の島で工事が行われたことが確認できる。園内の建物は、三の丸は市民体育館と蓬萊荘、明丸には武徳殿、鍛冶丸には美術館、二の丸には公会堂と図書館がある
27	23		高岡公園平面図	昭和36年	1961	紙・印刷、一部色鉛筆書き	一紙	2	—		59.0×97.0	園内に国有林を植栽するために作成された国有林配置図。樹木ごとに色分けされた丸印で示している。縮尺1000分の1。凡例あり(「移」・「栽」・「桜」・「こぶし」・「樺」・「椎」・「栗」・「榎」・「松」・「雑木」・「雑草」・「雑木」)。園内の建物は、本丸に野球場・射水神社・記念碑・噴水、三の丸は高岡市民体育館・蓬萊荘、明丸は動物園・武徳殿・公園取締員公舎、鍛冶丸は美術館、中の島は緑翠庵(茶室)、二の丸は図書館・公会堂・忠魂碑、小竹藪は売店がある
28	24		与謝野寛・晶子夫妻文学碑設計図	昭和37年頃	1962	紙・印刷	一紙	1	—		39.5×52.0	与謝野寛・晶子夫妻文学碑設計図。縮尺30分の1。石碑の断面図、正面図、平面図の3つが描かれる。それぞれの図には寸法や使用した石材名、加工方法などが細かく記載されている。この歌碑は昭和37年(1962)10月に本丸北隅にある皇太子殿下御野立所跡石碑隣の丘上に設置された
29	26		高岡公園実測平面図	昭和30年代後半		紙・印刷、彩色	一紙	1	—		48.7×66.5	園内中の島周辺(市有地①)、鍛冶丸(市有地②)、明き丸(市有地③④)、二の丸(国有地⑤)の実測平面図(左部)と公園見取図(右部)。縮尺600分の1。園内の建物は、本丸は射水神社と野球場、三の丸は市民体育館、明丸は動物園と武徳殿、鍛冶丸は美術館がある
30	27		高岡公園地積・建物明細図	昭和30年代後半		紙・印刷、一部色鉛筆書き	一紙	1	—		40.0×54.0	公園の地積(土地の面積)・建物明細図。縮尺1500分の1。右部には公園地の面積(国有地と市有地ごとの坪数ほか各郭ごとの坪数)、建物敷地(公会堂・図書館・美術館・体育館・管理事務所・忠魂地)の坪数が記載されている。園内の建物は、本丸は射水神社と野球場、三の丸は体育館と蓬萊荘、明丸は動物園と武徳殿、鍛冶丸は美術館がある
31	29		高岡公園内小竹藪平面図	昭和40年頃	1965	紙・印刷	一紙	1	—		58.0×62.0	園内小竹藪の平面図。縮尺500分の1。「花壇」・「駐車場」・「便所」などの記載があるほか、すぐ横を通る国道8号線(現県道44号線)も描かれる
32	30		高岡公園平面図現況図	昭和43(～47)年頃	1968(～72)	紙・印刷、着色	一紙	1	—	高岡市役所建設部都市計画課	63.0×101.0	昭和43～47年度にかけて行われた年度毎の公園整備箇所について、園内を色分けした平面図(現況図)。縮尺1000分の1。園内の建物は、本丸に射水神社、二の丸に市民会館・図書館・護国神社・忠魂碑、三の丸に市民体育館、明丸に動物園・武徳殿、鍛冶丸に美術館、公園外に工業試験場(現富山新聞高岡会館)がある
33	32		高岡公園平面図	昭和43～47年頃	1968～72	紙・印刷、着色	一紙	1	—	高岡市役所建設部都市計画課	62.5×98.0	昭和43～47年度にかけて、年度毎の公園整備にかかる補助事業費及び市事業費などについて、園内を色分けした平面図。裏面には「高岡古城公園/設計予想図」とある。縮尺1000分の1。園内の建物は、本丸に射水神社、二の丸に市民会館・図書館・護国神社・忠魂碑、三の丸に市民体育館、明丸に動物園・武徳殿、鍛冶丸に美術館、公園外に工業試験場(現富山新聞高岡会館)がある
34	31		高岡公園実測平面図	昭和44年	1969	紙・印刷	一紙	1	—	高岡市建設部都市計画課	80.0×142.0	昭和44年(1969)に行われた高岡公園園路築造工事(工期:昭和44年7月10日～11月20日)及び高岡公園中の島第一架替工事(工期:昭和44年8月1日～11月30日)を実施するために作成された実測平面図。縮尺600分の1。園路築造工事を行う本丸と橋架替工事を行う中の島での実測数値が書き込まれており、本丸部分には「標準横断図縮尺1/30」と書かれた紙が貼付けられている。園内の建物は、本丸に射水神社・野球場、二の丸に市民会館・図書館・護国神社、三の丸に市民体育館、明丸に動物園、鍛冶丸に美術館がある

35	33		高岡古城公園見取図	昭和47年7月	1972	紙・印刷、 彩色	一紙	6	—	高岡市建設部建築課	42.0×59.2	園内の見取図(6枚)。縮尺1500分の1。公園内にあった建物や場所の名称が記される。園内の建物は、本丸に射水神社・野球場・相撲場、二の丸に市民会館・図書館・護国神社・忠魂碑、三の丸に体育館・明丸に動物園・バラ園・弓道場、鍛冶丸に美術館・博物館・茶室(松聲庵)、小竹藪に駐車場など
36	34		高岡公園施設平面図			紙・印刷、 墨書、着色	一紙	1	—		62.5×100.0	園内の平面図。縮尺1000分の1。公園全体の輪郭が赤線で記される。凡例あり(「公園区域」・「陸地」・「水面」・「建物」・「字境」)。園内の建物は、本丸に野球場・射水神社、二の丸に公会堂・図書館、三の丸に「厚生年金/高岡市民体育館」、明丸に動物園・武徳殿、鍛冶丸に美術館、中の島に茶室・「深町」とある
37	35		高岡公園平面図			紙・印刷、 着色	一紙	1	—		63.0×99.0	公園内に電灯を配置するため(開花時)に作成された平面図。縮尺1000分の1。凡例あり(「常備灯」・「40ワットぼんぼり」・「200ワット吊下灯」・「500ワット投光器」・「500ワット水銀灯」)
38	36		養浩館御泉水絵図			紙・印刷、 墨書	一紙	1	—		55.0×78.0	国の名勝「養浩館庭園」(福井県福井市)の絵図。養浩館庭園は、福井藩松平家の別邸である回遊式林泉庭園。長さ5m、幅0.9mもの巨大な自然石を使った石橋、景石、立石、笏谷石製のつくばいなど越前産の名石を各所に使用している
39	37		高岡公園造園計画図			紙・彩色	一紙	2	—		54.5×78.5	本丸を中心とした造園計画図(2枚)。凡例あり(「萩」・「山吹」・「楓葉」・「梅林」・「ツツジ」・「藤」・「椿其他」・「紀年松」・「道路」・「築山」・「組地」・「杉林」・「銅像」)。この計画は実行されなかった
40	38		高岡市公園 字小松原 実測図			紙・印刷、 一部朱書き	一紙	1	—		39.5×53.5	小竹藪・中の島・本丸付近を実測した図と思われる。縮尺1000分の1。実測箇所には赤線が引かれ、数値が書き込まれている。「畑地」・「射水神社境内」などの記載もある
41	40		公園御竹藪土砂切取横断面図			紙・印刷	一紙	1	—		88.0×76.0	園内小竹藪の土砂切取工事のために作成された設計図(又は完成図)。縮尺200分の1。坪数などが書き込まれている
42	41		蓬萊実測図			紙・印刷	一紙	1	—		26.0×41.0	園内にあった蓬萊(売店)の実測図。縮尺300分の1。平面図と建物の求積(面積及び体積の算出)表が記載。1階は121坪81、2階は「28坪」とある
43	42		公園管理施設建築物実測図			紙・印刷	一紙	1	—		27.0×37.5	園内の公園管理施設建築物(713坪25)の実測図。管理事務所・雑種倉庫・雑庫・工具倉庫・薪入倉庫・材料倉庫・工具置場・薬倉庫・売店などの建物が記載。 【売店(2軒)詳細】「田口よし乃/大正11年建造/契約期間(S)31.4.1から(S)33.3.31まで」、「大文字とみ/昭和13年建造/契約期間(S)29.4.1から(S)34.3.31まで」
44	43		高岡公園略図			紙・印刷、 彩色	一紙	6	—		①55.2×78.0 ②27.2×38.2 ③54.2×38.8 ④54.0×77.8 ⑤129.2×77.4 (⑥測定できず)	園内の見取図、略図など(6枚)
45	44		古城公園忠魂碑前造園工事図面			紙・印刷、 彩色	一紙	3	—		63.0×78.0	二の丸椿山内にある忠魂碑前の造園工事図面(3枚)。縮尺100分の1。凡例あり(「筋芝A」・「筋芝B」・「植樹工(玉いぶき)」・「ニシカ」)。細かく実測数値が記載。本忠魂碑(護国神社左)は昭和30年(1955)8月、市内有志らによって終戦10年目を記念して建立された